

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北海道)	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・各国からの入国制限が緩和されたこと、当地及び札幌で冬の恒例イベントが開催されたことから、大雪の日があったにもかかわらず国内外からの観光客が増加しており、売上が増えている。
	◎	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化するのに伴って売上も回復している。
	◎	観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・大型イベントの集客力が新型コロナウイルス感染症発生前の水準に近いところまで回復している。客単価、稼働共に上向いており、コロナ禍からの回復を実感している。
	◎	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に変更されるとの報道があったことで、春の新規旅行予約が増加している。今後にも期待している。
	◎	タクシー運転手	来客数の動き	・2月は3年ぶりに当地恒例の冬のイベントが開催され、インバウンドを始めとした観光客が増加したことで、売上は前年から20%の増加となった。特に夜間の売上が伸びている。乗務員不足の影響で、タクシーの稼働率は前年を10%下回ったが、タクシー1台当たりの売上は前年から30%の増加となり、新型コロナウイルス感染症発生前よりも良くなっている。歩合給中心のドライバーの給与も新型コロナウイルス感染症発生前と比べて10%以上増えている。
	◎	観光名所（従業員）	来客数の動き	・当施設における2月の1日平均の利用状況をみると、月初めは1月の約2倍に達しており、20日過ぎの段階でも1.5倍となっており、利用客が着実に増えている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせていることから来客数が増加している。ただ、物価が上昇していることで客単価が上昇している一方で、買上点数は減少している。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・2月は3年ぶりに冬の恒例イベントが開催されたことで多くの来場者があり、絶大な経済効果がみられた。会場で飲食イベントが開催されなかったことから、周辺飲食店への波及効果も大きかった。繁華街などにも人が流れ、客が並んでいる飲食店が続出するなど、久しぶりの活況となった。やはり経済効果が見込めるようなイベントの開催は非常に効果的であると再認識させられた。
	○	一般小売店（経営者）	販売量の動き	・決算セールの影響もあったが、以前よりも客の動きが良くなっている。
	○	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・物価の上昇が収まらない状況ではあるが、新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴って、来街者や当店への来客が確実に増えている。それに伴って店頭売上も増加傾向にある。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・前年は大雪という外部要因の影響もあったが、衣料品の動きが顕著に良くなっている。トラベル関連の雑貨も好調に動いている。
	○	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数の前年比をみると、3か月前と比べて伸びている。商材の値上げに伴って、外食するのであれば総菜などを買うようにしたり、同じ商材を買うのであればコンビニエンスストアよりもスーパーで購入したりすることで節約につなげようという動きがみられ、客足が伸びている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3年ぶりに冬の恒例イベントが開催されたことで、国内旅行者、外国人観光客が増加した。
○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・求人倍率の向上に伴い企業の雇用情勢が回復傾向にある。また、観光需要が高まり、人流が増加していることで観光産業の業況に伸びがみられる。燃料価格や物価の高騰などの影響はあるものの、それを若干上回る伸びがみられることで雇用が創出され、小売業においても販売量の伸びを期待できる状況となっている。	

○	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・メーカーの生産台数が伸びていることで、2月及び3月の納車が予定台数に届きそうな状況に回復している。
○	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車の受注量が前年比で120%以上になっている。
○	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が収束しつつあり、新型コロナウイルスの5類感染症への移行も予定されていることもあって、僅かではあるが来客数が増えている。
○	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・インバウンドの回復により、2月の冬季観光シーズンを中心に集客が増えている。
○	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・全国旅行支援や入国制限の緩和により、人の動きが活発になってきた。
○	タクシー運転手	販売量の動き	・夜間の乗客が少しずつ増加しており、2019年の水準に近づきつつある。
○	タクシー運転手	来客数の動き	・少しは人が外出するようになっている。
○	美容室(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が急激に収まっており、それに伴って買物や飲食、観光など、客が外出する動きが活性化している。当店の来客数も増加傾向にある。
○	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕(従業員)	来客数の動き	・天候が比較的良かったこともあって、2月は欠航が少なく、輸送量が増加している。
□	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・特選関連の商材の動きは良いが、物価高騰の影響で依然として中間層の伸びが鈍化している。特に食品などのデパリ一品の動きが鈍い。
□	スーパー(店長)	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の影響に加えて、エネルギー問題やウクライナ情勢に端を発した物価高騰の影響もあって、不安定な状況となっている。短期的な景気の変動はあるが、ならずと変化はみられない。
□	スーパー(企画担当)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されて1年近くが経過することもあって、客の流れが新型コロナウイルス感染症発生前の状況に戻りつつある。一方、物価高騰が続くなか、店舗や商材、価格に対する客の選別の目が厳しくなっている。売上動向にも地域差がみられる。
□	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・商品価格が上昇していることで客の買い控えを懸念しているが、今のところ価格が上昇した分だけ売上が伸びている。
□	衣料品専門店(店長)	単価の動き	・新生活スーツ販売のピークを迎えつつあり、コロナ禍が収束していることで需要も増えているが、低単価商材しか稼働しておらず、過去最低水準の客単価となっている。
□	衣料品専門店(エリア担当)	来客数の動き	・光熱費の引上げや物価高騰がみられる状況ではあるが、来客数や買上点数は3か月前と比較してそれほど遜色ない状態で推移している。
□	家電量販店(従業員)	来客数の動き	・相変わらず来客数は前年を下回っている。商材を指名買いする傾向も変わらない。
□	自動車備品販売店(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせているものの、光熱費の引上げや物価の高騰により消費が慎重になっている。
□	住関連専門店(役員)	来客数の動き	・一部の店舗だけではなく、全店舗で来客数が減少している。
□	その他専門店〔医薬品〕(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響もあって、個々の客の健康志向が高まっている。必要な商材は値上げされたとしても購入する客が多い。
□	その他専門店〔造花〕(店長)	お客様の様子	・原材料価格高騰の影響もあって、客の購買意欲が低下している。注文を受けてから必要数を購入する傾向がみられる。
□	高級レストラン(スタッフ)	販売量の動き	・売上は例年の50%となりそうで景気は変わっていない。昼食は12時前後はビジネス客の利用がみられ、13時前後からは女性のグループ客が目立つなど、盛況ではあるものの、安いセットから売れていく。夕食は予約客も振りの客も少なく、限られたスタッフでこなしている。注文が重なると人手が足りなくなるが人員採用はとて無理な状況である。

□	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・全国旅行支援が継続しているものの、来客数について見込みほどの伸びがみられなかった。観光閑散期であること、全国旅行支援の割引率が低下していることなどが影響し、以前ほどの勢いが感じられない。
□	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・3か月前も全国旅行支援が実施されていたことから、余り変化はみられない。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・雪が降ると一時的に客の利用が増える一方で、インバウンドの予約状況はほとんど変わっていない。観光客の利用状況も以前と変わっており、全体的な景気は変わっていない。
□	タクシー運転手	単価の動き	・3か月前と比較すると、景気は横ばいで推移している。ただ、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあるため、これからどのような変化がみられるのか注視している。
□	通信会社(エリア担当)	販売量の動き	・景気の悪い状況が1年以上続いており、3か月前と変わっていない。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームを来訪する客の様子をみると、以前よりも慎重に購入を検討する客がやや増えているものの、前向きに検討している客がほとんどである。商談に掛かる時間も比較的短い。
▲	商店街(代表者)	お客様の様子	・客から物価が上がっているという話を聞くことが増えている。こうした状況下で景気が良くなることはない。
▲	スーパー(役員)	販売量の動き	・電気料金の引上げ、食料品の値上げに伴って、客の節約志向が強まっており、売上が前年を下回るようになってきた。
▲	スーパー(従業員)	来客数の動き	・コロナ禍が落ち着きをみせているにもかかわらず来客数の減少が続いている。値上げによって客単価が上昇しているものの、前年並みの売上が確保できない状況となっている。
▲	コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・商品価格が高騰していることで売上は良い状態にあるが、販売量が顕著に減少していることから、消費の先細りを懸念している。
▲	コンビニ(店長)	お客様の様子	・値上げの影響で客が低価格商材に流れる傾向がみられ、新商品であっても単価の高い商材の売れ方が鈍くなっている。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・部品などの入荷遅れが生じており、それに伴って車の製造が後ろ倒しになっている。販売量も2か月前や3か月前と比べると落ち込んでいる。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド](経営者)	販売量の動き	・石油製品価格の高止まりに加えて、電力料金やガス料金が引き上げられていることで、客の節約志向が強まっている。
▲	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・3年ぶりに行動制限のない冬となったことで、恒例のイベントを目的とした観光客などによる航空機利用が増加したものの、全体的にみると、全国旅行支援による国内旅行需要喚起策が一巡しており、閑散期を迎えている。一方、インバウンドによるニセコなどへの冬季スポーツ需要はようやく回復してきた。
▲	通信会社(企画担当)	競争相手の様子	・他社からの通信契約の乗換えはある程度獲得できているものの、新規客の獲得においては競合他社が強く、競り負けている。
▲	美容室(経営者)	来客数の動き	・例年2月は売上、来客数共に多少の落ち込みがみられる月であるが、今年は特に来客数の落ち込みが目立っている。来客数は前年と比べて10%程度減少している。
▲	美容室(経営者)	お客様の様子	・物価高騰の影響で客の使う金額が増えているため、景気はやや悪くなっている。
▲	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・ウッドショックの影響が落ち着きつつあり、木材の単価も徐々に下がっているものの、全体の建築コストは余り下がっていない。金利が上昇する動きがみられることもあって、住宅が余り建っていないこともマイナスである。

	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・地元百貨店の閉店から約1か月が過ぎ、周辺の区域の来街者が激減した。また、商店街区域内のバス乗降客数も目に見えて減った。特に高齢者の買物客が減少しているのが目立つ。新型コロナウイルス感染症への対策としての行動制限が緩和されつつあるとはいえ、当区域では来街者の減少傾向が続いている。
	×	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・新車を購入するのではなく、今の車を乗り続けるという客が増えている。また、近隣の百貨店の閉店報道などもあり、総じて景気は下向いている。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・少しは景気が良くなることを期待していたが、2月になっても良くはならなかった。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前と比較すると8割の売上にとどまるなど、停滞している。昼間、夜間共に売上の伸び悩みが続いている。外出、外食を控える傾向はライフスタイルの変化が大きく影響している。
企業 動向 関連 (北海道)	◎	—	—	—
	○	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・年度末を控えて受注工数の多くが完工を迎えている。悪天候の影響を受けることが少なく、工事の進捗が順調だったことに加えて、追加工事による変更契約もプラスとなり、計画を大きく上回る完工高と利益を確保できている。
	○	通信業（営業担当）	取引先の様子	・観光客の増加、イベントの再開などにより、周囲の取引先に活気が戻っており、道内の景況感の盛り上がりを感じている。
	○	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上を前年と比較すると、1月はほぼ前年並み、2月は微増となっていることから、景気はやや良くなっている。
	○	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	競争相手の様子	・資材価格の高騰など、不透明な部分が多く、業界全体としては判断が難しいところではあるものの、インバウンドの回復などもあって景気はやや良くなっている。競合先も業績を回復しつつある。
	□	輸送業（従業員）	取引先の様子	・売上について前年と比較すると、前年並み若しくは減少している。
	□	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・客の多くがメーカー系で取扱品目も多種にわたるが、一次素材品関連において受注量に大きな変化があるような情報が今のところない。
	□	金融業（従業員）	取引先の様子	・3年ぶりに開催した冬のイベントの効果もあって、来道客、インバウンドが増加するなど、観光関連業種の回復傾向が続いている。一方、コロナ禍で離れた事業者の回復が遅れており、人手不足によりフル稼働での事業活動が難しい状況も散見される。
	□	司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症への対策としての行動制限もなく、夜の街にもにぎわいが戻っている。外国人観光客の声を聞く機会も増えてきた。一方、前年からの物価上昇に歯止めが掛からず、不要不急な物の買い控えもあり、景気が良くなったとの感じはない。不動産に対する投資も金利が上昇するとの予測があることで停滞気味である。
	▲	食料品製造業（従業員）	取引先の様子	・鳥インフルエンザの影響で鶏卵の供給制限が生じており、必要量を製造できない状況となっている。
	▲	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年から設計の業務量の少なさを感じていたが、周囲のゼネコンからも業務量の少なさを聞く機会が増えている。建設業務の業務量の落ち込みは設計から工事へと段階が移り始めており、北海道における建設業界の経済縮小が確実に進んでいる。
▲	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年2月は物流の動きが鈍くなる時期である。倉庫関連ではバター、粉乳の出庫が進んでいるが、依然として高い保管水準となっている。一方、本州内での雑貨のトレーラー輸送は堅調だが、本州向けの荷物は生産抑制が続いている生乳、合板が低調である。3月もこうした傾向が続くとみられる。	

	▲	司法書士	取引先の様子	・建設業の主要取引先における受注量はおおむね例年どおりであるものの、燃料費の引上げ、為替相場の影響による輸入資材や原材料の価格高騰などがみられることで建築単価が上昇しており、販売価格も引き上げざるを得ない状況にある。価格が上がると売却までの時間が掛かることになり、資金調達などにも影響するため、悪循環が続くことになる。
	×	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年2月は端境期である。11～12月にかけては繁忙期であるため、3か月前と比べると景気は悪い。
	×	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べると、売上が2割強減っている。前年と比べても若干ではあるが落ち込んでいる。
	×	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・2月の販売量は前年比マイナス30%であり、3か月前の11月の販売量は前年比マイナス4%であったことから、景気は悪くなっている。
雇用 関連	◎	—	—	—
(北海道)	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は増加傾向にある。2月の獲得求人数は3か月前と比べると2割増加している。IT人材へのニーズは引き続き高く推移しており、営業、管理系の求人も増えている。コロナ禍での退職者を補充するニーズも引き続きみられるほか、堅調な業績を見据えて人材の採用を増やす企業も増えている。
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・ほとんどの業界において、新型コロナウイルス感染症発生前の求人件数に戻ってきた。これまで堅調であった観光業、小売業だけでなく、飲食店や娯楽業の採用活動も活発になってきた。ただ、採用が追い付かない状態が続いていることから、今後、人手不足が深刻になることも懸念される。また、少しでも条件の良い企業に移りたいのか、転職者が増加している。
	○	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・1月の新規求職者数は前年から6.9%の増加と2か月連続の増加となったものの、有効求職者数は6か月連続で減少している。新規求人数は引き続き業況堅調な企業を中心に求人が出ており、前年から15.4%の増加と引き続き高水準で推移している。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・当地における1月の有効求人倍率は0.96倍であり、3か月前との比較では0.03ポイント下回ったものの、引き続き堅調に推移している。
	○	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・本学において2月20日から2024年新卒者の就活が始まっており、企業の採用意欲はおおむね例年と同様である。ただ、飲食、ホテル、旅行などは学生がコロナ禍の状況をみてきたため、避ける傾向が強く、これらの業界の発信力によって学生の動きが変わることになる。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・業種、職種により求職者のエントリー数に大きなばらつきがみられる。また、規模の小さな企業やサービス業では、応募数の減少が顕著であり、人材確保の厳しさが増している。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・宿泊業や飲食業、小売など、観光分野の求人が増加傾向にあるものの、物価高などの影響もあって、全体的な景気が上向くところまでは至っていない。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人広告について、運輸業、一次産業、観光産業からの申込が増えている。一方、介護福祉業界においては求人広告の出し控えがみられる。
	▲	職業安定所（職員）	それ以外	・物価上昇に賃金の引上げが追い付いていない状況が引き続きみられる。
	×	—	—	—